

2年理数探究講座

7月8日(水)1年理数探究科希望者と2年理数探究科の生徒が7つのコースに分かれ探究講座をオンラインで開講しました。課題を提示し、生徒が仮説・検証をする過程において、研究者から指導・助言を頂き、研究者の視点や課題研究の基礎を体験的に学びました。



野菜の酵素に関わる講義を受けて

二年理数探究科 女子

七月八日に行われた探究講座で、私は「食品に含まれる酵素を学ぶ」という講座に参加しました。山形大学の矢野准教授に指導して頂きながら、野菜に含まれる酵素について実験を行い、自分たちの目で酵素がどのようににはたらくのかを確かめることができました。また、さらに発展的な実験を講師の方に実演して頂き、その結果から考察できることを自分たちで考え、発表し合いました。その中には自分たちで行った実験とのつながりが読み取れるものもあり、さらに考えを深めることが出来たと思います。また、野菜の食べ合わせにはこのような酵素が関係していることが多いということも教えて頂きました。

今回、教えていただいたことは自分たちの生活にとっても身近なものなので、自分の身の回りでも見つけることが出来たらいいなと思います。

2年国際探究講座

7月8日(水)1年国際探究科希望者と2年国際探究科の生徒が①コロナ禍で「できなくなった」を、「今だからこそできる(やる意味がある)」に発想を変える。②どの地域でも起こっている「観光」や「まつり」が直面している課題をなんとか解決するための情熱の共有。をテーマに企画立案、計画のワークショップを行いました。

今、私たちにできること

二年国際探究科 女子

国際探究講座では、なせばなる秋まつりの紹介動画の作成を市役所の方や大学生の方々と行いました。地域の大学生と交流する機会はありませんでした。とても貴重な時間でした。私の中では地域のために活動している大学生がたくさんいたことを知れた事も新たな発見でした。企画・運営や動画作成の知識がほぼない状態でしたが大学生の方々のサポートもあり、たくさんの面白いアイデアが出ました。コロナウイルスが流行している今、「何ができないか」ではなく「今だからこそできることは何か」へ発想を転換させて考えるのが難しく、そして面白かったです。動画を作成するにあたって、改めて自分が住む米沢に目を向けたことで、自分にも地域のためにできることがあるのだと気づくことができました。高校生が直接地域のために貢献できる貴重な機会なので、大切にしていこうと思います。

